展開の大要を活用しよう

道徳の授業構想を立てるとき，あるいは週指導計画を書くとき，道徳の年間指導計画にある「展開の大要」を活用していますか。道徳の授業を組み立てる基本となるものですから，いつもファイルを手元において，活用することが大切です。

展開の大要は，前年度までの先生方の実践と評価をもとに次のようなものが用意されています。

1．主題名，資料名，授業のねらい
2．導入，展開，終末の各段階の発問
3．展開前段では，資料に基づく中心発問と基本発問
4．展開後段では，自己を見つめさせる発問
5．授業の評価欄

「心にひびき，心をたがやす道徳教育」（Ｈ６福島県教育庁義務教育課編）に示された展開の大要例を参考にしてその活用を考えてみました。

主題名	郷土のために	内容項目	4－（7）
ねらい	郷土の発展に尽くした先人の努力に触れ，郷土の文化 し，郷土を愛する心情を育てる。		
資料（出典）	三浦弥平（郷土素材の開発資料）		
代替資料	中村膳右衛門（東京書籍　福島県版）		
事前指導	・「三浦弥平杯ロードレース大会」への参加を奨 ・郷土（梁川町）についての児童の理解の実態を ・地域マップの提示		
展開の大要	基本，◎中心，☆見つめる）	指	
	弥平の業績にはどんなこと がありますか。	・本県 手でマラソ ン競技 オリンピッ ク村を る。	
	○ 弥平の生き方，考え方で考えてみたいところはどんなところですか。	・弥平の に残ったこ とを話し合	
	◎ 弥平は大学の先生の職をことわり郷土に戻ったのはどんな考えからでしょう。 の生き方のもとになってい でしょう。	・大学の講師の職を 社会体育発展のため たことに気づかせる ・郷土のために大変 平の生き方に共感さ	
	☆ 今まで，郷土についてどんな考えをもっていましたか。	・自分の郷土についてどんな理解をしていたのか，弥平の生き方や考え方から今までの自己を振り返らせる。	
事後指導	・ふるさとの偉人，伝統文化，文化財等の紹介コーナーを設ける。 ・ふるさとオリエンテーリング（レクリエーション）の実施		
他領域との関連	・社会科の郷土学習，歴史学習 ・地域	備考	

学習指導要領に示された内容を確認する。

道徳的実践力の中で，心情，判断力，意欲，態度のどれに力点を置くか考える。

学級における指導計画にも生かしていく。

代替資料も読み，必要に応じて資料を代えていく。

ワークシートやノートの活用，役割演技の活用などを考える。

特に，中心発問をよく吟味する。

他の教育活動との関連を図る。

備考の欄に，授業を実施しての反省点や改善したいことを記入していく。